



2.生命を維持するはたらき

- (1) 気管支の先端のうすい膜の袋。
- (2) (1)があることでどんな点で都合がよいか。
- (3) 心臓から血液が送り出される血管。
- (4) 心臓へ血液が戻ってくる血管。
- (5) 動脈の壁は(　　)く、筋肉が(　　)く、(　　)がある。
- (6) 静脈にある逆流を防ぐもの。
- (7) 体全体にはりめぐらされた、細い血管。
- (8) 血液の中の一部がしみ出して、細胞をひたしている液。
- (9) (8)の一部は何という管に入るか。
- (10) (9)に入った組織液。
- (11) 血液の成分で、からだの各部へ酸素を運ぶ働きをする。
- (12) (11)の中にある赤い色素。
- (13) (12)の性質。
- (14) 血液の成分で、体の中に入ってきた細菌などを食べたりして、病気になるのを防ぐ働きをする。
- (15) 血液の成分で、血液を固めるはたらきをする。
- (16) 血液の成分で、小腸で吸収した養分や、からだの細胞が出した二酸化炭素などの不要物を運ぶはたらきをする。
- (17) 心臓から肺動脈、肺、肺静脈を通って心臓に戻る経路。
- (18) (17)を終えた血液が、心臓から肺以外の全身を回って心臓に戻る経路。
- (19) 酸素を多く含んだ血液。
- (20) 二酸化炭素を多く含んだ血液。
- (21) おもに生きていくために必要なエネルギーを得るもととして使われるもの。(2つ)
- (22) 体をつくるもととしても、エネルギーを得るもととしても使われる。
- (23) (21)や(22)などの養分を、吸收されやすい形に変化させる過程。
- (24) 食物から必要な養分を体に取り入れるはたらきをしている部分。
- (25) 食べ物の通り道は口から始まり、食道、胃、小腸、大腸を通って肛門に終わる。この管。
- (26) 食べたものを消化する液体。
- (27) (26)のはたらきは、(26)にふくまれる何によるものか。
- (28) 炭水化物が分解されたもの。
- (29) タンパク質が分解されたもの。
- (30) 脂肪が分解されたもの。(2つ)
- (31) だ液の消化酵素。
- (32) 胃液の消化酵素。
- (33) すい液の消化酵素。
- (34) デンプンを分解する消化酵素をもつ消化器官(3つ)
- (35) タンパク質を分解する消化酵素をもつ消化器官。(3つ)
- (36) 脂肪を分解する消化酵素をもつ消化器官。(2つ)
- (37) 消化された養分が消化管の中から体内に取り入れられること。
- (38) 小腸の表面にある無数の突起
- (39) ブドウ糖やアミノ酸は、(38)のどこに吸収されるか。
- (40) 脂肪酸やモノグリセリドは、(38)にどこに吸収されるか。
- (41) 呼吸などの活動によって、さまざまな不要な物質をからだの外に出すこと。
- (42) 肝臓ではアンモニアという有害な物質を何という無害な物質に変えるか。

肺胞

表面積を大きくし、酸素と二酸化炭素の交換の効率がよくなる。

動脈

静脈

厚、多、弾力

弁

毛細血管

組織液

リンパ管

リンパ液

赤血球

ヘモグロビン

酸素の多いところでは、酸素と結びつき、酸素が少ないところでは、酸素を放す性質。

白血球

血小板

血しよう

肺循環

体循環

動脈血

静脈血

炭水化物、脂質

タンパク質

消化

消化器官

消化管

消化液

消化酵素

ブドウ糖

アミノ酸

脂肪酸、モノグリセリド

アミラーゼ

ペプシン

リパーゼ

だ液、すい液、小腸の壁の消化酵素

胃液、すい液、小腸の壁の消化酵素

胆汁、すい液

吸收

柔毛

毛細血管

リンパ管

排出

尿素

日付

1回目

日付

2回目

日付

3回目